

一割三歩乃至一割四歩之例ハズル以テ自
 下ノ知極多ク教ハ欠勤者見ユ道チス其理由
 小出氏ハリシニ大伴在ノ如クナリト
 留 下等儀待久歎ニ入りタル以テ目下此村縣ノ端
 尙カルニノアルコト

二久シキ事儀ニ加ハリ東奔西走ト見爲被言
 未知極復且ハ情性ヨリ生居ルナリ
 三氷床ノ状態ニ依リテ未知恐怖心去クテハ死
 母中ノ注意ニヨリ生勤ヲ躊躇ト見ルハ女教ア
 リ

印刷 一而多ク年復四時ノ通場ノ際ニテ相者ノ積存
 たり右柱ノ別紙印刷物事務員ニ多配布也
 ニテラ職ニ関係スル感階ヨ一掃ノ保ルヤ

紳業執業ヲ勤ムル処リ名ノ者職ニツテヤ
 統々トマシ事進場ナリ

一 右等職ニ関シテ各人其志見テ親密
 人主爲的傾向ヲ有相入リ込ニ務ルハ事
 職解決ヨリニ脚ヲ抽キ後々ハ術ニシテ漸次
 掃蕩ノ途ニ就キヨリテ爲徳来ルコト也
 三才方乃開場ニ多ク是ノ夜星ハ衆知懐時ナリ
 目下美術傳部内年職本部ノ時ナリ
 限リ開録ニ殊務ハ遠山何海資ナリトモ多
 執ル下ニ決意トシテ橋ナカ向國廣開カ
 限リ将来ノ空所ニ家立ノ請求スリ便用ノ口
 上ノ勤者例ノ全数ニ於リテ身置職務職自ナリ

美術
 用巻